

Bike is Good!

www.bike-joy.com/b

「Bike is Good!」

自転車の良さは90%の人が指示していますが、支持率95%に向け、その普遍性や可能性を実証実験から再考してみました・・・

再提案

～THT Japan Ver.2・6 サイクリングネットワークの再構築～

RAID OBSIDIAN 2014 to VMY

宛先不明・・・

はじめに.....	P2
レイド・オブシディアン2014.....	P3
テトラバランス“アレンジ”.....	P4
ヴェロマルチ山口“再提案”.....	P5
資料(写真、コース案、他).....	P6
B×Cの提案・他.....	別紙

自転車遊び研究所

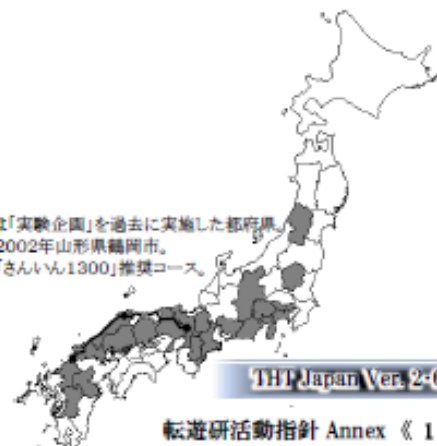
COURSE
CREATE

Open-road, Closed-circuit,
School, Media, Academy

〒740-0036
山口県岩国市藤生町1-30-6
TEL 090-3170-6658
InterFAX 03-6368-4661
E-mail Coursecreate@aol.com
URL <http://www.bike-joy.com>

2013年10月28日版(2012年12月8日起稿)

※グレー部は「実験企画」を過去に実施した都府県。
初開催は2002年山形県鶴岡市。
※黒実線は「さんいん1300」推奨コース。



転遊研活動指針 Annex 《 1 》

…はじめに…

京都議定書を遠因とする平成エコ系自転車ブームに、東日本大震災復興や地域振興なども絡まって、大規模なロングライドイベントが目白押しです。また、2020年の東京オリンピックも開催が決定して、自転車競技にも力が入ると期待しています。

但し、MTBブームの折り返し、スキー場のグリーンシーズン利用企画が新規購入者のイベント参加がひと回りしたところで減速したり、アトランタオリンピックで正式採用になったにもかかわらず、メダル種目として期待薄となるとマイナースポーツ扱いになったりと、苦い経験もしています。

“自転車”の復権なるか？

…と言っても自転車が市民権を得た時があったのでしょうか？

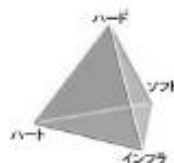
昭和30年代、舗装率が低く自動車も少ない道路事情が、自転車の存在を容認し、第一次サイクリングブームがあったと聞きます。またオイルショック後の第二次ブームは、私も経験しており、その後、先輩達の轍を見ながら、隙間的なエキセントリックな自転車ソフト(MTBラリーレイドやブルベ)に力を入れていました。その結果、MTBツーリングやロングライドのカスタマイズ企画にお呼びがかかる立場になっています。

そう言ったことも含め、自転車市民権獲得という永遠の課題も霞む程に、自転車を活用した、イベント、企画、町興し、施策が、日本各地で同時多発しているのが昨今のブームです。

それは自転車の多様性が複雑で、どんなベクトルでも許容してしまう性格を併せ持っている、良い意味で理解したいと思います。

そこで、今回の提案はもう少し範囲を狭めた「ポタリング」「ファストラン」「MTBツーリング」の自転車ソフト三原色の中の、最も扱いの難しいMTBラリーレイドの件です。

でも一般には自動車的な使い方と歩行者的な使い方の二面性が問題視されていますが。。



地図読みスキル世界一！MTBラリーレイド全日本選手権？

このMTBラリーレイドは、日本の道の起源、石器の原材料「黒曜石」の伝播したストーンロードに敬意を表して「レイド・オブシディアン」とネーミングしています。

MTBブーム最中の1990年代前半、冒険遊び好きのフランス人がオーガナイズする「エジプト30王朝ラリー」や「コルシカバイク」への参加経験から、日本流MTBラリーレイド「とれとればいく」が生まれました。

それは、関東、東海、関西、九州の有志がワンデイやツーデイのものを20年以上自主運営しており、GWには3泊4日規模の全日本選手権的大会を、ワイルドカードを含む5年周期の持ち回りで開催しています。

そして2014年GW、山口県内の岩国と萩を結ぶ山代街道に絡むコースで開催を計画しています。

そんな危ない山遊びを？と思われるでしょうが、参加資格には暗黙の了解があり、参加希望ラリーリストの地図読みレベルは世界一と、アドベンチャーレース関係者からは噂されています。

時には参加者、時には主催者！

四国の2/3の大きさのコルシカ島で、現在地ロストした時、ある意味、死を覚悟しました。

しかし、無事下山して見たスタッフの喜ぶ表情は忘れられません。

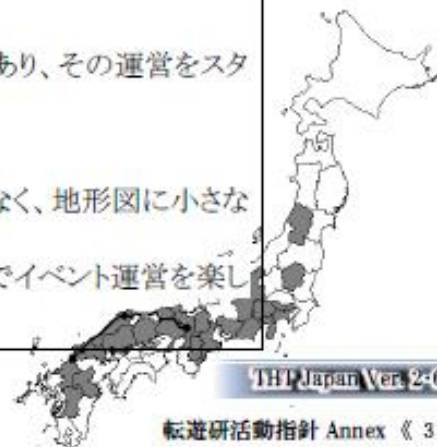
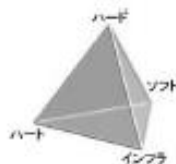
また、ローカルラジオで日本人が2名行方不明と放送されたり、ワイン畑に迷い込んでオーナーから怒られるどころか宿舎に感謝のワインが届けられたり、出会い頭の車をとっさに“左”に避けて女性ドライバーから主催者に苦情が寄せられたりと、自転車イベントが日常的に受け入れられているのにも感動しました。

そして一番のカルチャーショックは、通行規制の無い一般道でコンペティションが開催できる文化度であり、その運営をスタッフが楽しんでいることでした。

もちろんスキー場もある日本にも似た島は、山道をMTBで楽しむヒントも与えてくれました。

エジプトでは、雄大な自然がなければMTBラリーレイドは成り立たないと思いましたが、コマ地図ではなく、地形図に小さな矢印を加筆しただけで、一期一会の道を走れる人類の英知は目からうろこでした！

それが「とれとればいく／Trail-Trace Biking」の始まりであり、一緒に参加したメンバーが、持ち回りでイベント運営を楽しむことを厭わない原点でもあります。



… テトラバランス“アレンジ” …

「自転車の驚きは普遍」という意味を込めた「Bike is Good!」。
それをキャッチフレーズに日本の風土に合った自転車遊びを探る実証実験を行ってきました。
そして「THT26」に辿りつき、さらに副産物として見つけたのが「テトラバランス」です。

自転車環境正四面体

【テトラバランス】

自転車多様性を、**ハード**:自転車(作る、売る、使う、メンテナンス)、**ソフト**:使い方(楽しむ、仕掛ける、ネットワーク、日常利用と余暇活動)、**ハート**:人(ルール、マナー、テクニック)、**インフラ**:環境(道路、セキュリティ、保険、サイクリングクラブ)の4つに凝縮。



2012年、2013年とサイクルエイドジャパンに関わり、普通の道を普通に走るイベントの必要性和難しさを改めて感じました。
また、シマノバイカーズフェスティバルに立ち上げから関わっており、日本の山道利用の難しさや、アウトドアフィールドのセキュリティの脆弱さも感じています。

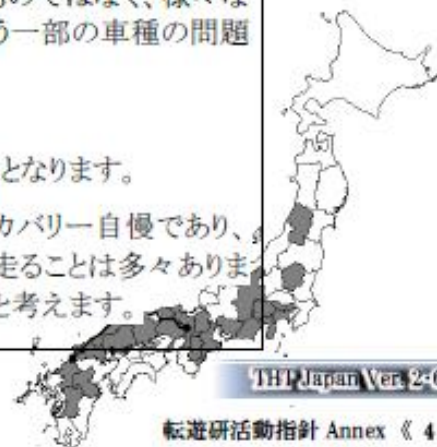
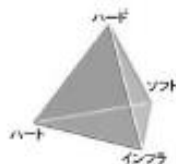
“P2”で触れた、「最も扱いの難しいMTBラリーレイドの件」とは正にこのことです。

この課題は、単一のイベントや限られたエリアや任意団体、そしてショップや個人のレベルで論議するものではなく、様々な関係者が共通認識に立つことが必要条件です。しかし繰り返される自転車ブームにあって、MTBという一部の車種の問題は、全体の課題と捉えられていません。しかし“道”は連続しています。

この状況をテトラバランスに当てはめてみました。

「ハード:Mountain Bike」「ソフト:Rally Raid」「インフラ:Trail Maintenance」「ハート:Partnership」となります。

さらに加えると、とれとればいくには「ロスト自慢」と言う特徴があります。これは道に迷った状態からのリカバリー自慢であり、MTBラリーレイドが「困難との遭遇」と言われる所以です。コンペティションでなくとも、一期一会の道を走ることは多々あります。このノウハウや課題を自転車ソフト三原色で共有することが、自転車市民権の獲得の必要十分条件と考えます。



人と大地の間に自転車

“レイド・オブシディアン”のようなマニアックな企画を喜ぶ人は希少な存在であり、また、主催者と参加者の両方の立場を理解するスタッフはそれにも増して貴重な存在です。

それ故に自転車ソフト三原色をブームとは関係なくバランスよく提案しなければ、自転車関係者の支持を得られません。さらに「自転車市民権」への壁を越えるには、普通の道を普通に走る企画の充実、即ち自転車遊びの機会均等が必要と考えます。

それは、自転車の日常利用とスポーツ利用の融合であり、自転車に接する最初のチャンス、ショップでの情報提供にも工夫の余地があり、「活動指針P2」でも触れている「春需でソフトも売ろう！」が最重要課題と考えています。

学生時代の日本一周や、海外遠征、さらに最近のイベント運営において、いつも感じることがあります。自然美と災害、自転車走行環境と平和、そして、人と大地の間にある自転車は生命維持装置ではないかと…！

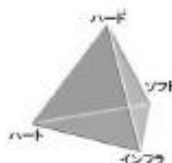
VMY再提案＝レイド・オブシディアン2014プラス

「レイド・オブシディアン2014」は、規模の大小とは別に2009年からの続きとして、持ち回り開催は確定しています。そこにMTBラリーレイドの運営ノウハウを応用したセミセルフ方式の「MTBツーリング」や「ロングライド」をオプションとして加えたいと思っており、可能であれば、「岩国」「吉賀」「萩」「山口」で“自転車さんぼ”も併催したいと思っています。

一方「VMY/Velo-multi Yamaguchi」は、東日本大震災前年の2010年に提案したのですが、2012年、2013年と復興支援企画に呼び出され休止状態でした。骨子は、県内の自転車遊びの活性化計画として、「エリア」「リリース」「パートナー」の連携を模索するものでした。そこで今回の企画が、再起動のスイッチになればと考えています。

パートナーシップとサイクリングネットワークの再構築

自転車の多様性は「テトラバランス」を偶然見つけたように複雑で分析中です。それでも「(一社)自転車協会」を中心に次世代ショップの在り方を模索しているようで、それに便乗出来れば「全国展開/自転車さんぼネットワーク」「東部日本/奥座敷型 Think MTB from 信州」「西部日本/地産地消型 Velo-multi Yamaguchi」として実験企画を考えています。





1992年6月、
コルシカバイクに
日本から2名が初参戦

教会の前を
派手な合図で
スタート

配布された
コピーだけでは
不安が募る

1991年10月、湾岸戦争の影響で
開催が半年延期された
エジプト30王騎ラリー-SS1のスタート

- ★レイド・オブシディアン2014/コース案(案案)
- 5月3日(土) SS1:岩国集合……………→錦町泊
 - 5月4日(日) SS2:錦町……………→徳地泊
 - 5月5日(月) SS3:徳地……………→萩泊
 - 5月6日(火) SS4:萩……………→山口解散

※集合オプションルート(宮島からと、益田からの2ルートを設定し、オプション参加、ツーリング参加に対応する。)
(ツーリングは別途企画予定)

★印:「岩国」が「萩」の山口で、「自転車さんぽ」の併催も検討!



----- 山代街道:萩藩の領地見回りと、本郷地区の和紙を萩城下へ運んだ道。★ルート/秋秋鬼堀川(開所)~本郷~丘瀬~道金~鹿野~徳地~阿東~福栄~萩
※このルートに絡んだ、オプションとMTBツーリング用のダブルルートを計画中!(萩の飯後様を視野に!)

Trail Trace Riding = MTB Rally Raid Japan's Original
とれとれバイク08~09 / RLT Raid - Obsidian 2009
2009年5月2日~6日 / 出雲-太田-益田-萩-徳地-錦町

《SS4ワンデイ参加者募集!》

募集要項

①参加者募集

②参加費

③参加方法

④参加者へのお願い

⑤お問い合わせ先

①参加者募集

②参加費

③参加方法

④参加者へのお願い

⑤お問い合わせ先

体感!驚き!岩国の山道!

①参加者募集

②参加費

③参加方法

④参加者へのお願い

⑤お問い合わせ先

- ↑ 2009年5月2日(出雲集合)~3日(太田)~4日(益田)~5日(錦町)~6日(岩国解散)
- ← レイド・オブシディアン2014コース案
山代街道に絡むメインのMTBラリーレイド用
それに絡むツーリングコース
さらに自転車さんぽの併催も探る
※ 一期一会の日本一周企画に向けた、セミセルフ方式の「ブルベ山口(萩)」の実験企画。

